

日中の中学生 交流キャンプ

小浜 料理、塩作り挑戦

「日本・中国子ども自然体験交流キャンプ」に参加している中国浙江省と県内外の中学生が4日、小浜市田島の国立若狭湾青少年自然の家で野外体験活動を行った。生

徒たちは野外炊飯などを通して、言葉や文化の違いを超えた友情をほぐらんだ。

同キャンプは、県内の自然を生かした体験教室を開いている福井市のNPO法人パートナーシップセンター(辻一憲理事長)が、中国浙江省人民

炊飯に挑戦した。塩は、小浜湾からくんだ海水を鍋に入れ、かきませながら約2時間煮詰めて作った。続いて、カレーライ

でサインを出しながらコミュニケーションを上手にとり、交流を深めていた。

参加した福井工大附属福井中2年の北中桜さんは「中国の生徒は英語の発音が良くて驚いた。外国の文化に触れる貴重な体験にもなった」と話していた。



野外炊飯などを通して交流を深める日本と中国の生徒たち。4日、小浜市田島の国立若狭湾青少年自然の家